

市営バスにおける試験運行（印場駅～愛知医大間） の利用状況等について

1 試験運行の概要

(1) 試験運行の背景

西ルート左回り1便において、市の西部地域から愛知医大への移動が集中し、乗りこぼしの発生頻度が高くなっていたため、利用者の分散等を目的として、現行の運転手の人数で対応できる印場駅から愛知医大までの早朝特別ダイヤを試験的に設定。

※ 早朝特別ダイヤは、平日のみに設定。

※ 本内容は、令和6年度第1回尾張旭市地域公共交通会議にて、協議済。

(2) 試験運行期間

令和6年9月2日（月）～令和7年8月29日（金）

※ 試験運行の結果を検証し、本格運行への移行を検討する。

2 試験運行の利用者実績等（R6.9.2～R6.10.25）

(1) 西ルート左回り1便の乗りこぼし件数

R 4	R 5	R 6. 4～R 6. 8 （試験運行前）	R 6. 9. 2～R 6. 10. 25 （試験運行後）
8件	12件	7件	0件

※ 試験運行後は、左回り1便では乗りこぼしが発生していない。

(2) 利用者数

▼1便当たりの平均利用者数：5.7人

▼1便当たりの最大利用者数：15人

(3) 1日平均の乗降が多い停留所

番号	停留所	乗車
1	印場駅	2.8
2	本地住宅	1.5
3	南新町中畑	0.3

番号	停留所	降車
1	愛知医大	5.1
2	晴丘、庄南町	0.2
3	本地住宅、西部浄化センター	0.1

3 今後の取組

試験運行開始後に乗りこぼしが発生していないことから、試験運行便の増便により利用者の分散が一定程度図られていると想定される。今後、アンケート調査や停留所での聞き取り調査等を行うことにより、試験運行便の利用実態を把握し、今後の検討につなげる。